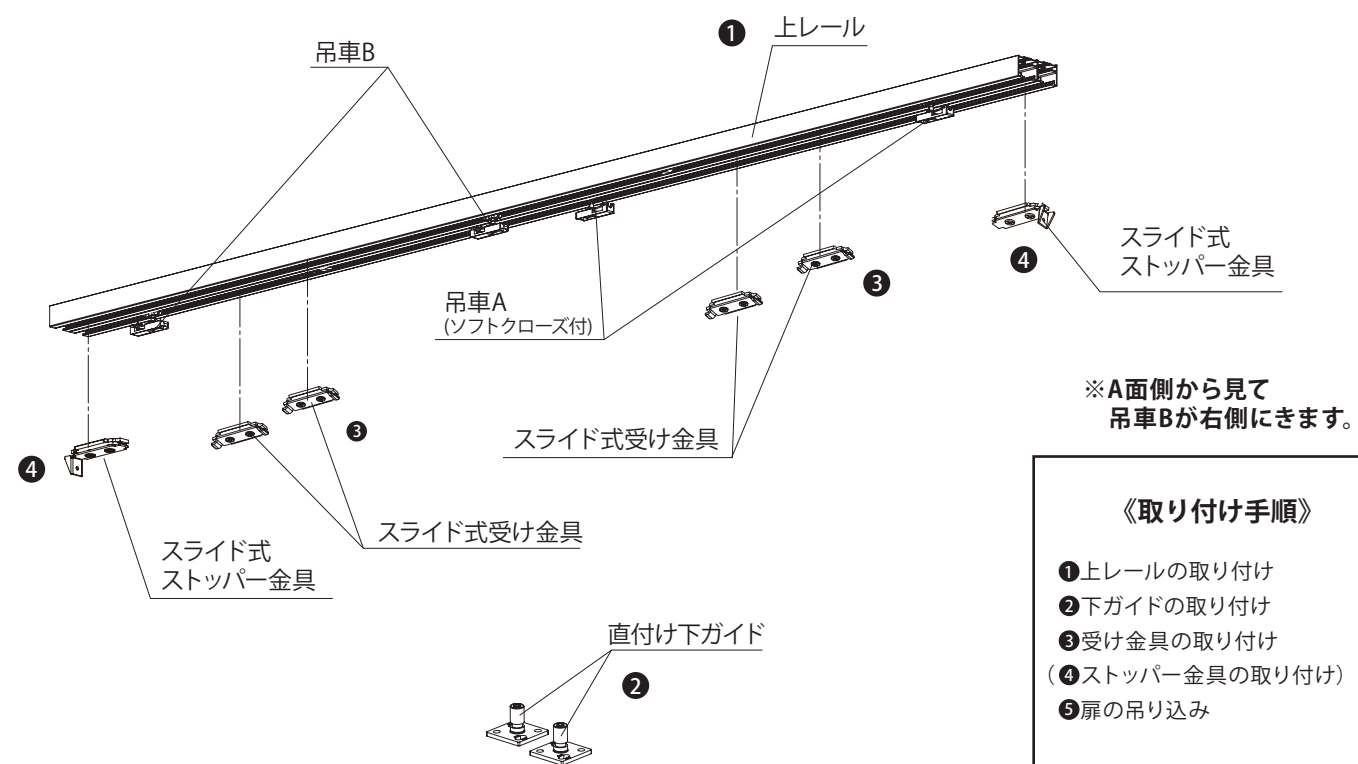


枠の分解図

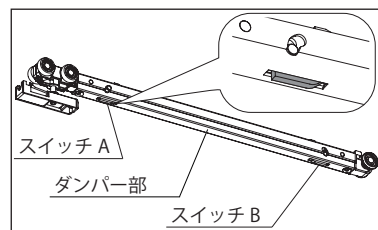


製品取扱上の注意

《製品取扱上のご注意》

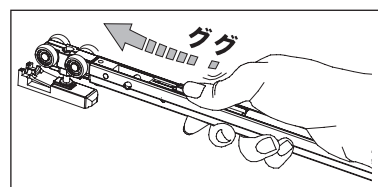
使用金具の吊車Aは内部にダンパーを内蔵しています。扉の取付け前後に必ずダンパーの状態を確認してください。□にチェックを入れて確認してください。

- 吊車Aをレールにセットする前に、ダンパー部のスイッチが図のようになっているか確認してください。スイッチはダンパー部より飛び出しています。

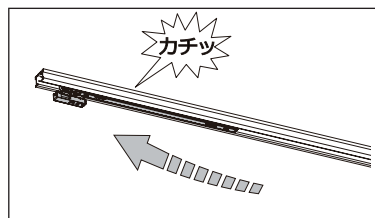


※スイッチは、A・Bあります。

- スイッチが出ていない場合は、図のようにスイッチを引き出してください。



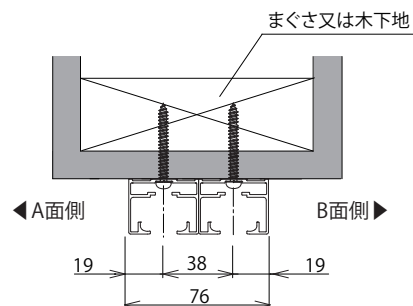
- ①上レールを固定し、スライド式受け金具の取付け後図のようにソフトクローズ機能の確認を行ってください。吊車Aをレールの左右端部分付近まで動かします。ソフトクローズ機能が働き、吊車Aがゆっくりと動きます。もし、この時にソフトクローズ機能が作動しない場合は、カチッという作動音がするまで強めに端の方へ動かしてください。吊車Aを戻して、再度ソフトクローズ機能が正常に作動することを確認してください。



取付方法

1. 上レールの取り付け

図のように、まぐさ又は木下地に上レールを固定します。ナベT.Pビスφ4×35を使用してください。



取付方法

2. 上レールへの金具の取付け

①レールの端面から、吊車A・Bそれぞれの金具を入れます。

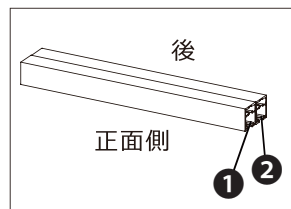
レール②：スライド式受け金具→吊車B→吊車A→スライド式受け金具→スライド式ストッパー金具

レール①：スライド式ストッパー金具→スライド式受け金具→吊車B→吊車A→スライド式受け金具

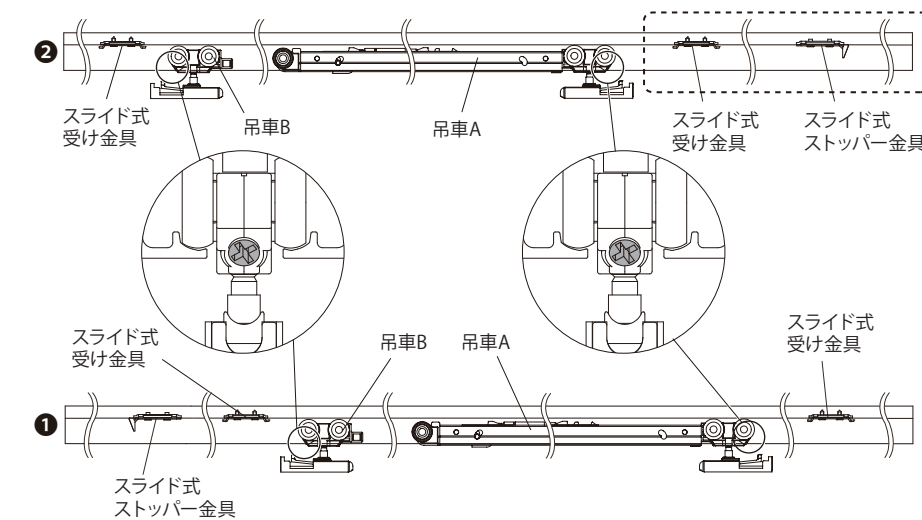
※下図は左引き仕様の場合です。

※上レールと上ランナーの向き、受け金具の差し込み位置に注意してください。

※下図を参考に取付けてください。

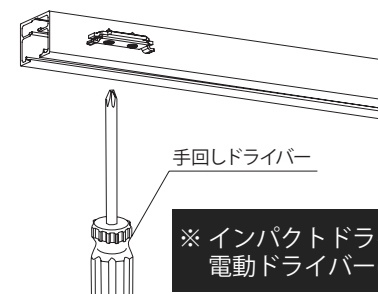


《各金具の差し込み順詳細》



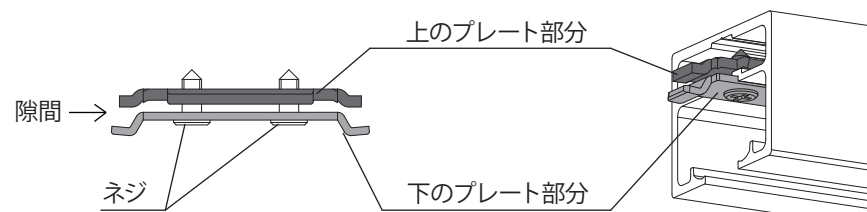
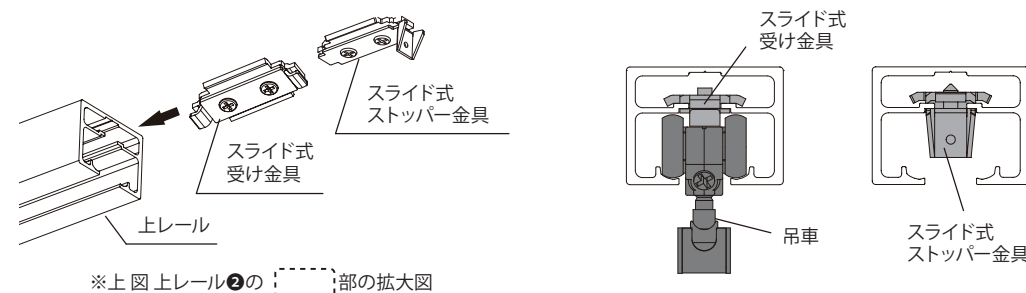
②スライド式受け金具/スライド式ストッパー金具を仮固定します。

スライド式受け金具/スライド式ストッパー金具を上レールに仮固定します。



スライド式受け金具は必ず所定の位置に設置を行ってください。誤った位置に設置すると扉が閉まらない又はソフトクローズ機能が作動しない原因となります。

《受け金具の差し込み位置詳細》

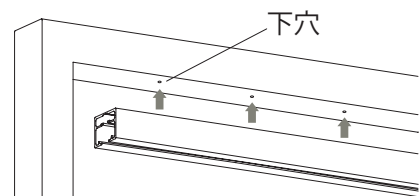


スライド式受け金具の間に隙間を作らずにそのまま差し込んでしまうと、ソフトクローズ機能が作動しない原因となります。必ず、上のプレートと下のプレートに隙間を作り、レール中段へ差し込むように取付けてください。

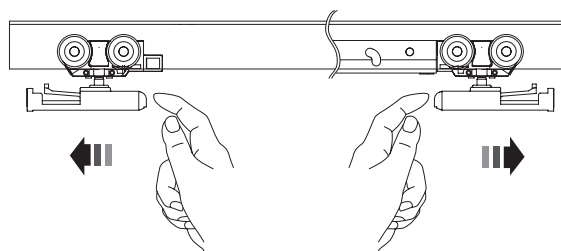
取付方法

3. 上レールの取付けと金具の移動

- ①下穴を開けます。レールを取付ける前に、取付位置に下穴を開けると取付けしやすくなります。(推奨下穴はΦ3)
- ②上レールの取付け
上レールを天井または枠に取付けビス ナベT.PΦ4×35にて固定します。

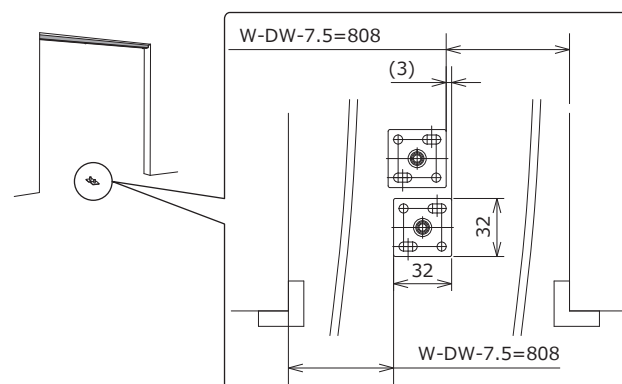


- ③上ランナーの移動
上ランナーを扉の外側に寄せます。

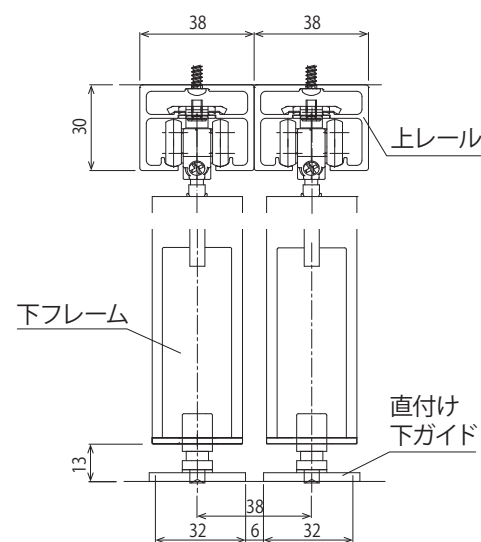


4. 直付け下ガイドの取付け

床に直付け下ガイドを
取付けビス トラスタッピングΦ4×16にて固定します。



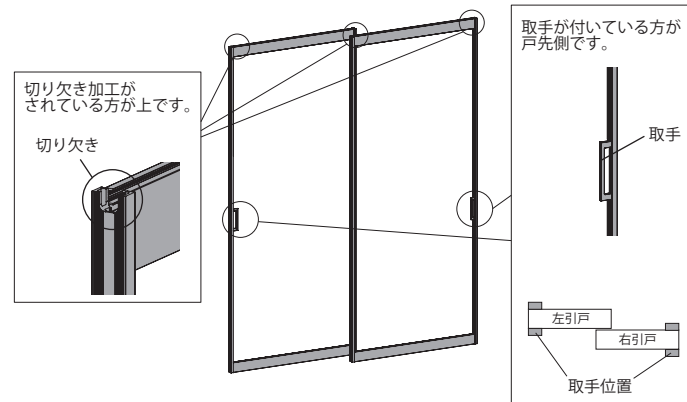
※ インパクトドライバー、電動ドライバーは使用不可



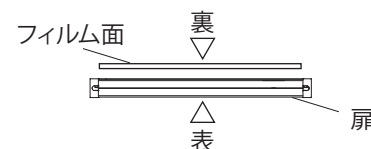
⚠ 扉と床の隙間 13(+4/-1)mm は必ず守ってください。この寸法を守らない場合、扉が直付けガイドから外れる、又は扉が開閉できない原因となります。下ガイドの床がカーペットの場合については、木端等で土台を作成してしっかりと固定してください。

5. 扉の確認

扉を吊り込む前に、扉の天地・表裏の確認をします。

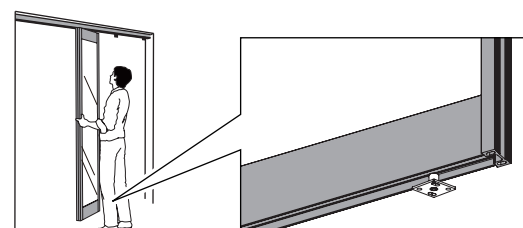


面材がガラスの場合
フィルム面というシールが裏側になります。

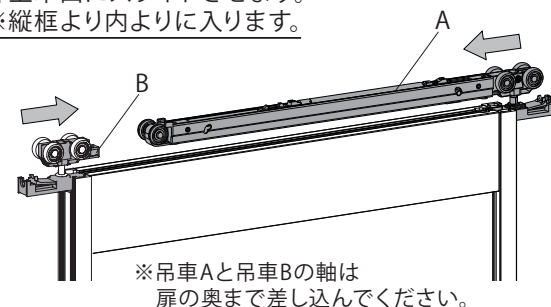


6. 扉を吊り込み、抜け止めキャップを差し込む

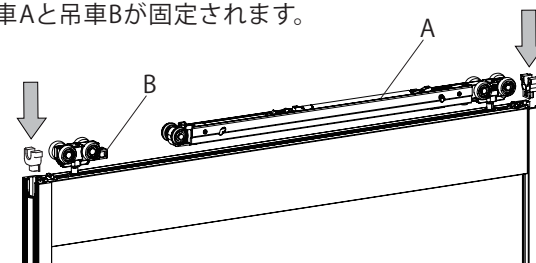
- ①扉下部の溝を、下ガイドに沿わせます。
※吊り込み時に扉の表裏を確認してください。



- ②扉を持ち上げ、吊車を扉へセットしてください。
扉上木口にスライドさせます。
※縦框より内よりに入ります。



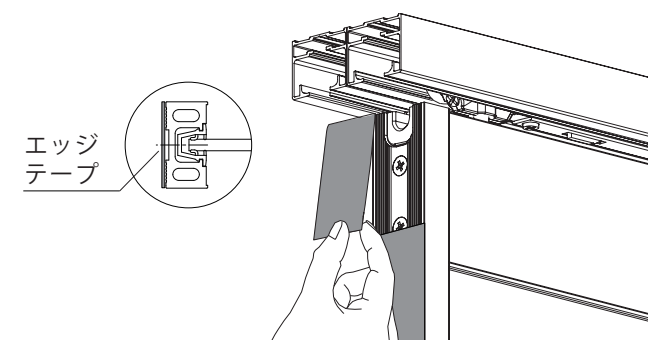
- ②縦框の上から抜け止めキャップを差し込みます。
吊車Aと吊車Bが固定されます。



取付方法

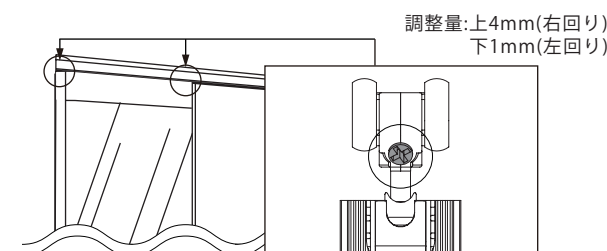
7. エッジテープの貼り付け(扉の両木口)

縦框木口面にエッジテープを貼り付けます。
下図のように縦框木口面の上部に上框に貼ってあった、エッジテープを貼り付けます。



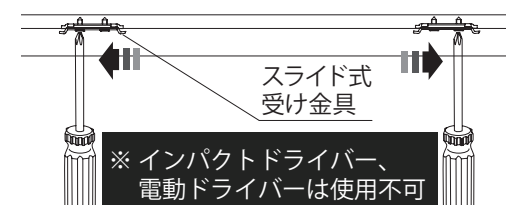
8. 扉の調整

上ローラー木口面のビスをドライバーで回し、
扉の隙間の調整をしてください。



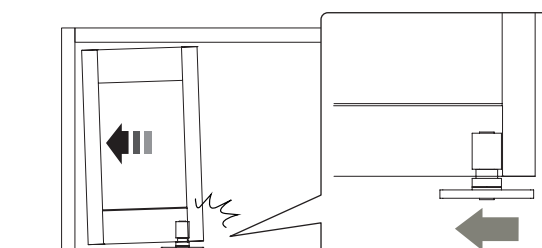
9. 受け金具の本固定

- ①スライド式受け金具の調整と本固定をします。
扉を閉めた時にフレームが重なりあうように金具の位置を調整します。スライド式ストッパー金具は図面の位置に固定します。



⚠ しっかりと固定してください。固定が緩い場合はソフトクローズ機能が作動しない場合があります。また、ランナー破損の原因となります。

- ②直付け下ガイドを調整します。
①の微調整に合わせて、直付け下ガイドも調整します。
プレートの長穴の範囲で調整し、丸穴に取付けビス トラスタッピングΦ4×16で固定します。



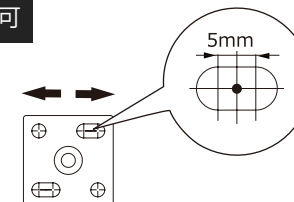
《直付け下ガイドの調整》

微調整が必要な場合は、直付け下ガイドの位置を調整してください。

- 左右調整 (±2.5)

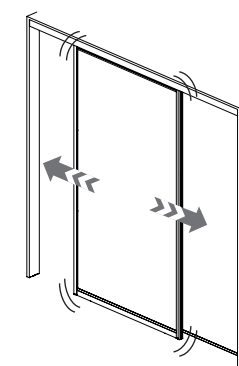
※ インパクトドライバー、
電動ドライバーは使用不可

長穴のビスをゆるめ、調整後、
ビスを締めて固定します。



10. 扉の作動確認

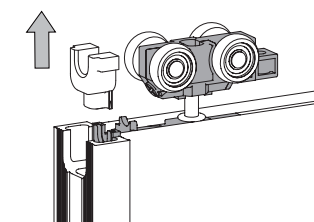
扉を左右へ動かし、作動等問題が無い確認してください。
(走行性、異音、ソフトクローズの作動 等)



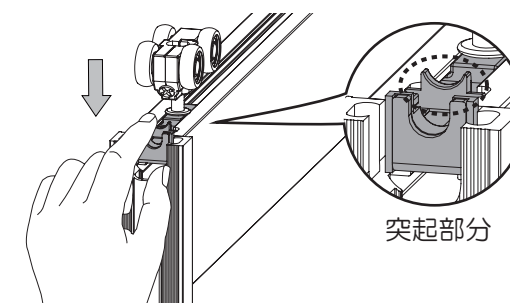
※扉を取り付けたら、
保護フィルムを剥がしてください。

扉の外し方

- ①縦枠から抜け止めキャップをはずします。



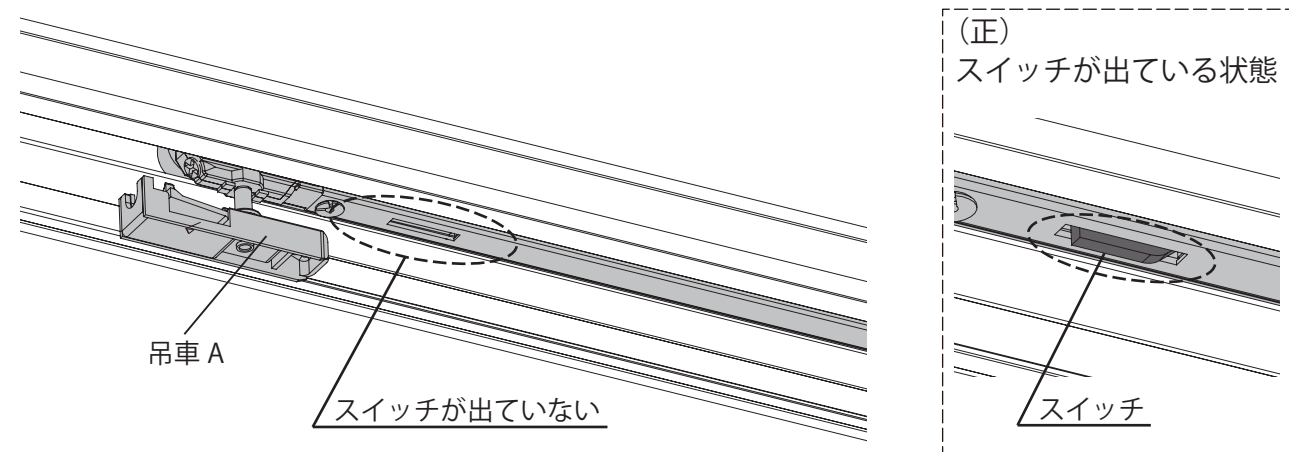
- ②吊車の突起の部分を下に押しながら吊車を引き抜き、扉をはずします。



ソフトクローズが作動しなかった場合

ソフトクローズの復帰方法

扉を取り付けた後、吊車 A のソフトクローズが作動しない場合は、スイッチを確認してください。
スイッチが出ていない場合は、ソフトクローズの復帰作業①～②を行ってください。



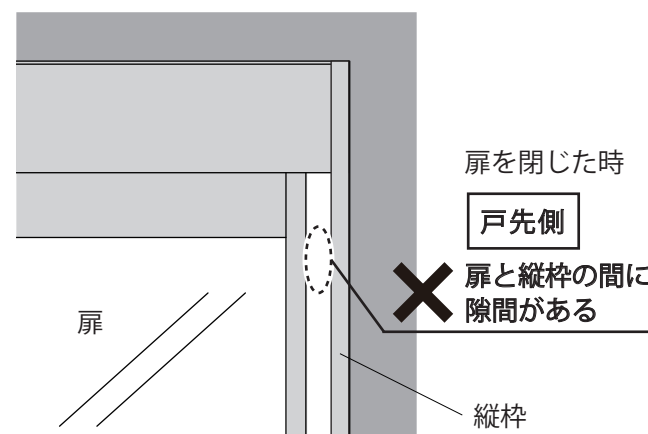
① 扉を押し付ける

下図のように扉を開方向、閉方向に押し付けてください。
吊車 A のスイッチが受け金具を乗り越えて、正常位置に復帰します。



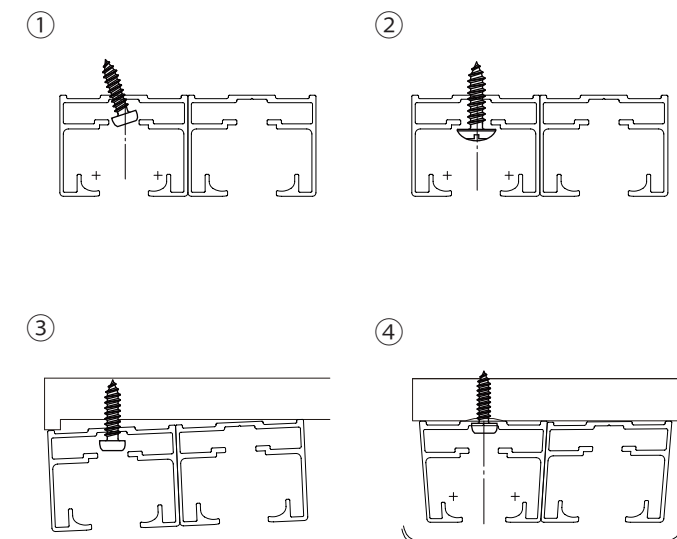
② 扉と縦枠の間隙を確認する

扉を閉じたとき、扉と縦枠に隙間がないことを確認します。
下図のように戸先側に隙間がある場合は、もう一度①の作業を行ってください。(左図)



⚠ 上レール取り付け上のご注意

- ① 取り付けビスはまっすぐに締めてください。
ビス頭が吊車などの他の部品に引っかかり正常な走行ができないことがあります。
- ② 付属ビス以外は使わないでください。
付属ビス以外のビスを使うと、正常な保持力がなかったり、他の部品に引っかかり正常な走行ができないことがあります。
- ③ 上レールは正しい位置に固定してください。
レールにねじれなどが生じて、正常な走行ができないことがあります。
- ④ 必要以上のトルクで締め付けしないでください。
必要以上のトルクで締め付けますと、ビスの頭を破損したり、レール自体が変形して正常な走行ができないことがあります。



吊車 A (ソフトクローズ付) のご使用上の注意

- ビスは、指定のものを指定本数使用して、固定してください。
- 上レールのビスの頭が吊車 B と接触しないようにご注意ください。
- 上レール・吊車の内部にゴミ・ほこり等が入らないようにしてください。
- 上レールの傾き・ねじれ・ビスの締めすぎによるレールの変形が無い様に取付けてください。
- 吊車の内部に油・水等の塗布はしないでください。
- 分解はしないでください

<性能上の注意>

- 諸条件により、ダンパー力、閉じ込み速度にバラつきが発生することがあります。
(閉める速度、施工状態、周囲の環境、使用環境、扉重量、左右の扉の走行性の違い等)
- 扉を閉める速度が速いと(約0.5m/s以上)正常に作動しない場合があります。

<条件により以下のように閉じ込み速度にバラつきが発生することがあります>

- 閉める速度によるバラつき
- 取付状態によるバラつき
- 周囲の環境・使用環境によるバラつき
- 扉重量によるバラつき
- 左右の扉の走行性の違いによるバラつき

<取付上の注意>

- 上レールはビスの締め過ぎによる変形が無いように取付けてください。
- 本製品にビスの締め過ぎによる変形が無い様に取付けてください。
- 上レールの内部にくず・ゴミが入らないように取付けてください。
- 上レールは傾きが無い様に取付けてください。
- 上レールはねじれが無い様に取付けてください。

⚠ 表示した注意事項は、状況によって重大な結果(障害、物損)に結びつく恐れがあります。
ご注意 必ずお守りください。

<使用上の注意>

- 扉と枠や、扉と扉の隙間に手や指を入れないでください。
指を挟み込んでけがをする恐れがあります。
- 扉にぶつかったりぶら下がったりしないようにしてください。
扉が破損し、けがをする恐れがあります。
- 部品に潤滑油やグリスを注さないでください。
部品の割れや変形、変色を生じる恐れがあります。
- ビスが緩んだ状態で使用しないでください。
金具などに負担がかかり扉が開かなくなる恐れがあります。
定期的にビスの締め直しを行ってください。
- この製品は耐火構造ではありませんので、火の気の近くでのご使用は避けてください。
- 分解・改造をしないでください。器物損傷の原因になります。
- 扉に開閉方向以外の力を与えないでください。
扉の破損や脱落の原因になります。
- 扉の開閉の邪魔になる場所に物を置かないでください。
器物の損傷の恐れがあります。

<お手入れ方法の注意>

- お手入れは柔らかい布で優しくふきとってください。
- 汚れている場合は布またはスポンジに薄めた中性洗剤をつけて、汚れを落としてください。
- 水を含んだ布で洗剤をとり、必ず乾いた布で優しくふきとってください。
- 長期間清掃しないままにしておくと、表面に付着した汚れはしみや腐食の原因となります。
汚れが軽いうちに清掃してください。
- お手入れをする時は必ず軍手やゴム手袋を着用し保護してください。
- アルミは水跡が残りますので、日ごろから柔らかい布で良く拭いてください。
- 傷や錆びの原因になるので、スチールタワシ、磨き粉、ベンジン、シンナーは使用しないでください。
- 本製品はアルミ製ですが、取り扱いによっては錆びることがありますので、ご注意ください。

Brezza

HP <https://ebrezza.com>
mail info@ebrezza.com